外国語(英語)科 学習指導案

日　時　令和８年１月 29 日(木)
第５校時　13：30～14：20
学校名
対　象　第２学年　　組　　名
会　場　２年　　組　　教室
授業者

１　単元名

Lesson 8“*Rakugo* Goes Overseas”*NEW CROWN English Series 2*（三省堂）

２　単元の目標

海外で活躍している落語家、大島希巳江さんについて深く知るために、彼女のインタビュー記事を読んで、彼女の経験や学んだこと、今後取り組みたいことなどの必要な情報を読み取ることができる。

３　単元の評価規準

ア　知識・技能	イ　思考・判断・表現	ウ　主体的に学習に取り組む態度
①　現在完了形を用いた文の使い方・意味を理解している。 ②　英語落語家のインタビュー記事を読んで、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取る技能を身に付けている。	①　英語落語家のインタビュー記事を読んで、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取っている。	①　英語落語家のインタビュー記事を読んで、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ろうとしている。

４　指導観

⑴　単元観

本単元は、中学校学習指導要領（平成 29 年３月告示）第２章　第９節　外国語　第２　各言語の目標及び内容等　英語　１　目標　⑵　読むこと

> イ　日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができるようにする。

また、同２　内容〔知識及び技能〕　⑴　英語の特徴やきまりに関する事項

> エ　文、文構造及び文法事項
> (ｳ)　文法事項
> e　動詞の時制及び相など
> 現在形や過去形、現在進行形、過去進行形、現在完了形、現在完了進行形、助動詞などを用いた未来表現

及び、同２　内容〔思考力、判断力、表現力等〕　⑵　情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項

ア　日常的な話題や社会的な話題について，英語を聞いたり読んだりして必要な情報や考えなどを捉えること。

さらに、同２　内容　⑶　言語活動及び言語の働きに関する事項

①　言語活動に関する事項 ウ　読むこと (ｳ)　簡単な語句や文で書かれた日常的な話題に関する短い説明やエッセイ、物語などを読んで概要を把握する活動。

を受けて、単元の最終段階では、社会貢献のために海外で活躍している落語家、大島希巳江さんについて深く知るために、彼女のインタビュー記事を読んで、彼女の経験や今後取り組みたいことなどの必要な情報を読み取ることができることを単元の目標とした。

⑵　生徒観

ペア・グループワーク等の活動に積極的な生徒が多く、７割以上の生徒が活発に意見を交わそうとする。一方で、「読むこと」について苦手意識をもつ生徒は多い。読解力を身に付けられるよう、インタビューにおける質問と回答に注目して通読させ、必要な情報は何かを読み取らせる。また、テーマについての予備知識や新出語句などの提示を効果的に行ったり、述語部に注目して通読させたりする。支援が必要な生徒については机間支援を行い、生徒の考えや意見を聞き出しながら課題解決に向けたアドバイスをすることで、生徒の理解を補助する。また、授業の進度を確認しやすくするために、ワークシートで授業を展開し、ＩＣＴにてワークシートの画像をモニターに掲示する。

⑶　教材観

本単元の目標は、海外で活躍している落語家、大島希巳江さんのインタビュー記事を読んで、彼女の経験や学んだこと、今後取り組みたいことなどの必要な情報を捉えることができる活動を言語活動として設定した。本単元で扱う英文は、インタビュー記事である。概要は、インタビュアーによる質問であり、要点は、その質問に答える大島さんの回答である。その「概要」と「要点」をまとめたものを、本単元で読み取るべき「必要な情報」とした。

単元の最終段階では、大島さんのインタビュー記事の必要な情報を捉えることを目標とした。

（例）

概要（インタビュアーによる質問）	要点（その質問に答える大島さんの回答）
Why did Oshima Kimie start performing *rakugo* in English?	Because she wanted to share Japanese humor with people all over the world.
How many countries has Oshima Kimie been to?	Nearly twenty.
Has Oshima Kimie had any difficulty with her *rakugo* performances in English?	Yes, sometimes there are cultural differences between Japan and other countries, so she has to explain Japanese customs.
What has Oshima Kimie learned from her performances around the world?	In her opinion, we're different, but we also have things in common, like laughter.
What are Oshima Kimie's future plans?	To continue spreading laughter. She hopes this will lead to a more peaceful world.

５　年間指導計画における位置付け

月	単元名	学習内容
4	Lesson 1 Meet New Friends	「話すこと［発表］」
5	Take Action! Listen 1 空港のアナウンス	「聞くこと」
	Lesson 2 Fun with Books	「書くこと」
	Take Action! Listen 2 コンサートのお知らせ	「聞くこと」
	Take Action! Talk 1 買い物	「話すこと［やり取り］」
6	Lesson 3 My Dream	「話すこと［発表］」
	Take Action! Listen 3 ボイスメッセージ	「聞くこと」
7	Reading Lesson 1 The Tale of Peter Rabbit	「読むこと」
	Lesson 4 Safe Clean Water	「書くこと」
9	Take Action! Listen 4 ラジオニュース	「聞くこと」
	Take Action! Talk 2 話し合い	「話すこと［やり取り］」
	Lesson 5 Visiting Australia	「話すこと［発表］」
10	Take Action! Talk 3 電車の乗り換え案内	「話すこと［やり取り］」
	Lesson 6 Friends from Singapore	「読むこと」
11	Reading Lesson 2 Online Experiences	「読むこと」
	Lesson 7 Gifts from China	「書くこと」
12	Take Action! Listen 5 冒険家のインタビュー	「聞くこと」
	Take Action! Talk 4 話し合い	「話すこと［やり取り］」
1	Lesson 8 *Rakugo* Goes Overseas	「読むこと」
2	Reading Lesson 3 A Pot of Poison	「読むこと」
	Project 2 人気のあるもの調査	「話すこと［発表］」
3	Project 1 My Dream	「話すこと［やり取り］」
通年	パフォーマンステスト	
	ペーパーテスト	

６　単元の指導計画と評価計画（全６時間）

時	目標	○学習内容　・学習活動	評価規準 (評価内容)
第1時	本単元の最終的な言語活動を知り、学習の見通しをもつ。	○　落語についての導入 ・　扉絵の内容から、落語についてオーラルインタラクションする。 ・　大島希巳江さんを紹介し、「時そば」を演じている動画を視聴する。 ・　どのように演じているのか、道具は何を使っているか等について、分かったことをペアで話し合う。 ・　単元の目標を確認する。	ウー①（観察、振り返りシート）
第2時	Part 1 の対話文を読み、話の内容を把握する。	○　Part 1 の内容把握 ・　述語部に注目し、Part 1 を個人で読む。 ・　ペアで分かったことについて話し合う。 ・　教師とのやり取りで、学級で対話の内容を把握する。	ア－②(観察、ワークシート) ウー①（観察、振り返りシート）
第3時	Part 2 を読み、話の内容を整理する。	○　Part 2 の内容整理 ・　述語部に注目し、Part 2 を個人で読む。 ・　ペアで分かったことについて話し合う。 ・　教師とのやり取りで、学級で対話の内容を把握する。	ア－②(観察、ワークシート) ウー①（観察、振り返りシート）
第4時	現在完了形を用いた文の使い方・意味を理解する。	○　現在完了形の理解 ・　Part 1、Part 2 の内容から、現在完了形の形・意味を理解する。 ・　過去のある時点から現在までの動作･状態を表していることを理解し、人物についてより詳しく表現できる方法の一つであることを確認する。	ア－①(ペーパーテスト)

第5時（本時）	対話文の必要な情報を読み取る。	○ Part 1 の復習 ・ Part 1 の内容を、教師との会話で復習する。 ○ 概要と要点の推測（個人） ・ 個人で、「マークと花の対話で、一番重要な情報はどこか」について、概要と要点を推測する。 ○ 中間評価の実施 ・ 個人で考えた概要と要点を基に、ペアで「なぜその部分を一番重要な情報としたか」について話し合う。 ・ 気付きを促す生徒を代表で指名する。 ○ 概要と要点の理解 ・ 対話文において、質問者による質問が概要で、回答者による応答が要点であることを理解する。	ア－②(観察、ワークシート) ウ－①（観察、振り返りシート）
第6時	英語落語家のインタビュー記事の概要と要点を捉える。	○ 記事の概要及び要点把握 ・ 述語部に注目し、記事を個人で読む。 ・ 記事の概要と要点をワークシートにまとめ、提出する。 ○ 単元のまとめ ・ 教材観に示した概要と要点を確認し、振り返りシートに自身の学習についての振り返りを記入する。	イ－①(ワークシート) ウ－①(振り返りシート)

7　指導に当たって

ア　英語落語家のインタビュー記事を通読しながら必要な情報を読み取る中で、海外で活躍している大島希巳江さんの経験や読者に伝えたいことを自己解釈し、「主体的な学び」に結び付ける。

イ　ペア、グループワークを活用し、自身が捉えた対話文における概要と要点を共有する時間を設け、相互に学び合えるようにすることで、「対話的な学び」につなげる。

ウ　中間評価を実行することにより気付きを得て、対話文における「概要」と「要点」の捉え方を知り、その応用を再構築し、初見の対話文でも読み解けるよう「深い学び」を実現する。

8　本時（全６時間中の第５時）

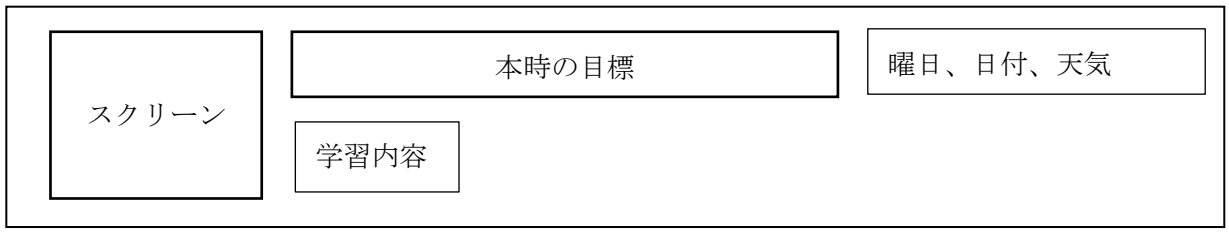
⑴　本時の目標

対話文の必要な情報を読み取る。

⑵　本時の展開

時間	○学習内容　・学習活動	指導上の留意点・配慮事項	評価規準（評価方法）
導入 （５分）	○　挨拶	・　英語の授業の雰囲気をつくる。	
	本時の目標：対話文の必要な情報を読み取る。		
	○　Part 1 の復習 ・　Part 1 の内容を復習する。	・　モニターに視覚資料を掲示し、やり取りをしながら内容を復習する。	
展開① (35 分)	○　概要と要点の推測（個人） ・　個人で、「マークと花の対話で、一番重要な情報はどこか」について、概要と要点を推測する。 ○　中間評価の実施 ・　個人で考えた概要と要点を基に、ペア話し合う。 ・　学級で、意見交換をする。 ○　概要と要点の理解 ・　対話文において、質問者による質問が概要で、回答者による応答が要点であることを理解する。	・　マークと花の対話の内容から、「何が一番重要な情報か」を推測し、「なぜそう思うかの理由」を考える。 ・　ペアで「なぜその部分を一番重要な情報としたかの根拠」について話し合う。 ・　気付きを促す生徒を代表で指名する。 ・　なるべく多くの意見を出し、教師と生徒との会話で根拠について話し合う。 ・　花の対話の目的は「マークに落語について知ってもらうこと」であることに注目させる。 ・　対話文では「相手意識」が重要であることを根拠とし、対話の中でマークに落語についての関心が生まれ、その関心に基づいて質問した部分が概要であり、その質問に対する花の応答が要点であることを理解させる。	アー② 英語落語家のインタビュー記事を読んで、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取る技能を身に付けている。（観察、ワークシート） ウー① 英語落語家のインタビュー記事を読んで、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ろうとしている。（観察、振り返りシート）
まとめ （５分）	○　振り返り ○　挨拶	・　振り返りの記入	

⑶　板書計画



⑷　授業観察の視点

ア　英語落語家のインタビュー記事を通読しながら必要な情報を読み取る中で、海外で活躍している大島希巳江さんの経験や読者に伝えたいことを自己解釈し、「主体的な学び」に結び付けられていたか。

イ　ペアワークを活用し、自身が捉えた対話文における概要と要点を共有させる時間を設け、相互に学び合わせることで、「対話的な学び」につなげられていたか。

ウ　中間評価を実行することにより気付きを得て、対話文における「概要」と「要点」の捉え方を知り、その応用を再構築し、初見の対話文でも読み解けるよう「深い学び」が実現できていたか。